

令和6年度 八戸市こどもモニター フィードバック資料（概要版）

こどもモニターの皆さんからの意見などを整理し、その主なものについて、市の施策や計画などへの反映結果をまとめました。

アンケートに対して、さまざまな意見や提案を出してもらい、ありがとうございました。今後の市政に役立てていきたいと思います。



令和6年度 八戸市こどもモニター

1. 募集 令和6年4月22日～5月10日
2. 人数 100名 ※学年・地域・学校のバランスを考慮し、抽選によって選任。

区分	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
応募者数	36	23	18	8	5	13	21	14	138
委嘱人数	15	15	15	8	5	13	15	14	100

3. 委嘱状交付式

令和6年5月25日（八戸市総合保健センター）
モニター約60名、保護者約50名が出席しました。



<令和6年度アンケート実施状況>

No.	実施期間	アンケート名	設問数	回答率	担当課
1	6月28日～ 7月16日	八戸市美術館に関する アンケート	18問	97%	美術館
2	8月19日～ 9月2日	手話についてのアンケート	9問	94%	障がい福祉課
3	9月30日～ 10月15日	本を「読む」「書く」こと についてのアンケート	18問	86%	文化創造推進課
4	10月18日～ 10月31日	はちのへ創生総合戦略の 策定に係るアンケート	16問	89%	政策推進課
5	11月15日～ 12月3日	令和6年度 八戸市10大ニュース	2問	86%	広報統計課
6	1月20日～ 2月10日	こどもまちなかIT部からの アンケート	11問	92%	こども未来課

裏面あり



アンケート結果をふまえ、 市の取組にどのように 反映できるかを考えました！



美術館
でのワー
クショップ



◇検討した結果の一部を紹介します

八戸市美術館でやってみたいことや、期待することを聞いたところ、「勉強スペースとしての利用」が最も多く、次いで、「美術作品の鑑賞」、「アートに関するワークショップ」となりました。

「勉強スペースとして利用」のニーズが多く、中心街の居場所としての役割が求められていることが分かりました。できる限り一般利用できるスペースを確保します。

若い世代が興味を持ち、気軽にアートに触れることができるよう、より魅力的な美術作品の展示やワークショップを企画します。

小説や漫画などを「書いたことがある」「書いてみたい」と答えた方に、八戸ブックセンターで開催している体験型ワークショップへの参加について聞いたところ、「参加したい」と答えた人が81.1%でした。

ブックセンターでの
ワークショップ



八戸ブックセンターは、書く人を増やす取組の一つとして、「執筆・出版ワークショップ」など、特に若い方向けの体験型企画を実施しています。

今後も、若者に人気のある漫画など、興味関心のあるジャンルを幅広く捉え、書き方講座やトークイベントの実施を検討していきます。

八戸市にどんなイベントが増えたら嬉しいか聞いたところ、「音楽フェス」を増やしてほしいという意見が多数ありました。

八戸ポータルミュージアム「はっち」では、令和6年度より「はっちFRIDAY LIVE！」を実施しています。

歌・バンド・演奏・ダンス等の出演者を公募し、ライブパフォーマンスを実施。学生優先の特別枠も設けていますので、多くの方の発表の場として活用してもらえよう周知していきます。

そのほか・・・

「八戸圏域ファームステイ事業」の対象が、中学生になっていましたが、令和7年度から、高校生も対象に見直します。

小中学校へ送付していた「手話出前講座」の案内を令和7年度は高校へも送付することを検討します。

バスの交通環境の改善を求める意見を受けて、「ハチカ」のデータを活用しながら、より利用しやすいダイヤ編成に努めます。

普段の居場所として公園が多かったので、安全・安心に向けて、適切な維持管理が最も重要であることを改めて実感しました。